

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	505A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：505A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：505C

フレアーの幅 インチ

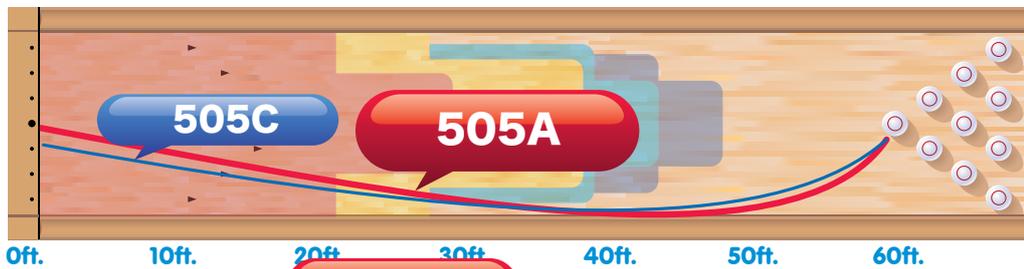
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

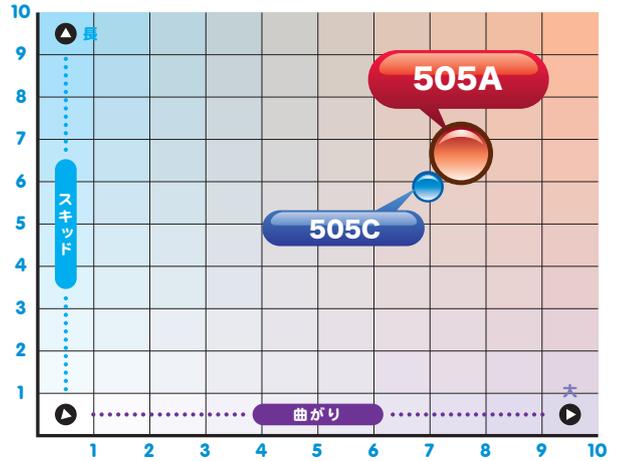
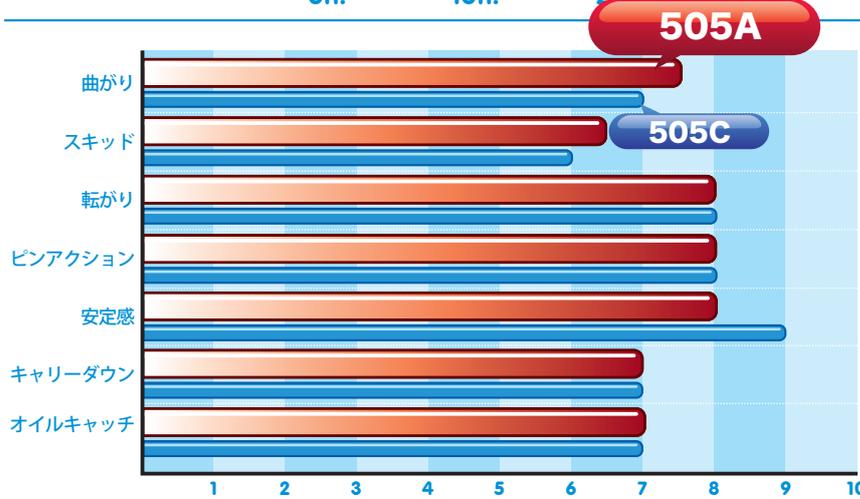
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS専属松永裕美プロ、佐藤まさみプロの優勝を支え、山本勲プロをパーフェクトへと導いた505C。即日完売で追加発注もバックオーダーですでに完売と、トラック社新たな試みである性能を番号表記にし、ボール名とした505Cは発売以来プロ・アマ問わず多くの実績を残し、コアとカバーストックが生み出す性能「C」がもつコントロール性は高いレベルでの仕上がりが実証されました。

505Aは「T」、「A」、「C」のリアクション性能から前作の「5」のカバーストックがMid、「C」Controlの性能を今回「A」Angularに変え、コントロール性能から先での動きを重視した、まさしく「A」を名乗るに相応しい攻撃的バックエンド重視の性能で発売です。「9」、「7」、「5」と表記されたカバーストックで「5」はMidの性能ですが、実際505Cを投球してみてもMidの性能でもオイルに差ほど弱くなく、ヘビーなコンディションでない限り使える用途の広さを感じて頂けたと思います。そのカバーストック特性を残しつつ、バックエンドから鋭い角度で攻撃的にポケットへ貫く。505Cで足らなかった進入角度を補い、715Aよりもレトリアクションの性能はトラック社第2弾の幕開けでもあります。

先での動きが重視されている為、曲がり幅は505Cよりも大きく感じますが、曲がり始めは505Cのほうが早く感じられます。715Aと比べても先での動きは強く、「9」、「7」、「5」シリーズで一番スキッドし、先での動きは最も「A」Angularに感じることでしょう。505Cでももう少し先での動きが欲しい方、715Aでももう少しスキッドして欲しい方、シャープな切れ味のボールを好んでお使いの方には是非使用して頂きたいボールです。

特記事項

「5」シリーズ、「A」Angularの性能。走って切れ、角が出るリアクションで攻撃的にラインを攻めることが出来るでしょう。505C・715Aと組み合わせ、多彩なアジャスティングをお楽しみください。